

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10010365

政策目標	4 つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	19 消防・救急・防災体制の強化	事業優先度	A	
単位施策	1 災害予防対策・危機管理対策の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	町道復旧事業	見直し年度		
事業期間	平成26年度～平成27年度	担当課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	復旧箇所数		#N/A	
事業目標	33箇所	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	【平成26年度】 モサラマン線線外砂利道復旧 共栄栄丘線外法面応急 栄丘4号線外路盤復旧 音稲府6号線外6道路復旧 上雄武3号線外2道路復旧 北幌内5号線外1道路復旧 新日の出地区排水改修 【平成27年度】 北幌内5号線道路復旧 L=7m、W=4.3m 共栄栄丘線法面補修 A=174㎡(特殊かご) 沢木18号線法面補修 A=22.5㎡(二重フンかご) 幌内草地5号線法面補修 A=342㎡(特殊かご)		・モサラマン線線外砂利道復旧 路盤復旧(12路線)594㎡ ・共栄栄丘線外法面応急 <small>共栄栄丘線法面・29㎡、新沢木折懸線・土臺220段</small> ・栄丘4号線路盤復旧 路盤復旧、排水復旧一式 ・音稲府6号線外6道路復旧 <small>排水3路線、道路復旧1路線、法面応急2路線</small> ・上雄武3号線外2道路復旧 <small>上雄武3号線道路復旧、南幌内線法面応急、沢木排水路</small> ・北幌内5号線外1道路復旧 <small>北幌内5号線道路復旧、幌内草地3号線法面復旧</small> ・新日の出地区排水改修 <small>排水改修L=143.4m</small>	・北幌内5号線道路復旧 L=7m、W=4.3m ・共栄栄丘線法面復旧 A=174㎡ ・沢木18号線法面復旧 A=22.5㎡ ・幌内草地5号線法面復旧 A=342㎡		
	事業費(千円)	52,000	0	32,000	20,000	0
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	52,000		32,000	20,000		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	31,968	0	31,968	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	31,968		31,968			
特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
【評価・実績】		※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
前期計画からの継続	年度目標値		29箇所	4箇所		
第6期計画への継続	年度達成率	#DIV/0!	100%	0%	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体達成率	0%	61%	61%	61%	61%
	事業進捗状況		☆☆☆☆			

事業名	町道復旧事業	評価者	管理職	職氏名	建設水道課長	渡邊孝司
		評価者	作成者	職氏名	土木管理係長	田原慎也

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	道路利用者、道路	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	復旧箇所数		
【抱える課題やニーズは】	道路利用者への被害。路盤流出、法面崩壊等による通行止め。		①	指標(指標計算式/解説)	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	道路利用者の安全な通行の確保。			目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	道路、法面等の復旧による安全な通行の確保。		復旧箇所数/復旧箇所数		達成度
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①民間業者による工事の実施	平成26年8月の大雨に伴う道路復旧工事であり、予算補正を行い、随意契約により、民間業者に工事を発注し道路、法面等の復旧を実施した。	目標年度	平成26年度	
			目標値	29箇所	
			実績値	29箇所	
			達成度	100.0%	
			②	目標年度	平成26年度
				目標値	
				実績値	
				達成度	#DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町道の復旧は、安全な通行を確保するため、町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことで通行止めが解消されたとともに安全な通行の確保が図られた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	通行止めの解消と安全な通行の確保ができたことは、効率的であると判断する。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	通行止めの解消と安全な通行の確保が図れたことは、不特定多数が通行する道路利用者に対して公平であると判断する。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
本年度は、通行に支障をきたす箇所を復旧したところであり、今後通行に支障をきたす恐れのある箇所があるため、安全な通行を確保するうえで、計画どおり事業を進めることが適当であると判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
安全な通行を確保のため必要不可欠であることから、継続、現状維持が適当であると判断する。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止